

## 第2次野洲市環境基本計画進行管理一覽表 令和3年度

※結果について、A…達成(100)、B…ほぼ達成(99~80)、C…未達成(79~50)、D…大半が未着手(49~1)、E…未着手(0)とする。( )内の数値は達成度のパーセントイメージ

基本目標	点検番号	施策の方針	重点プロジェクト	主な取組主体・所管課	第2次野洲市環境基本計画(H29~H38)で定めた進捗評価のための指標			令和2年度目標	令和3年度目標	事業計画
					指標	現況(平成27年度)	10ヵ年(H38まで)の目標			
1 安全で快適な生活環境づくり	1-1	大気環境 水環境の保全	健康で快適な暮らしを守るプロジェクト	・市 環境課	・大気汚染に係る環境基準の達成状況 ※NO2, SO2, SPM (三上小学校、駅前北自治会館前、小堤、七間場)	環境基準を達成	維持	・環境基準値を超過した場合の的確な対応	・環境基準値を超過した場合の的確な対応	大気、水質、騒音、振動などについて、継続的に環境測定や調査(モニタリング)を行い、その結果を公表する。環境基準値を超過する事案が発生した場合は関係機関と連携を図り、迅速および的確に対応する。
	1-2	生活環境の保全			・公共用水域の水質汚濁に係る環境基準の達成状況 ※環境基準の類型指定河川 (C類型:新川、江口川、童子川、祇王井川、大山川)のBOD					
	1-3	環境美化の推進	きれいなまちを守るプロジェクト	・市民ボランティア団体 ・市 環境課	・ごみの不法投棄件数 ※廃棄物不法投棄監視員巡視報告	214件 (平成23~27年度の平均)	減少	・不法投棄件数の減少	・不法投棄件数の減少	不法投棄の監視、パトロールには監視員の力が必要であり、今後も注力を継続していただくと共に、個人が特定できる不法投棄については警察と連携し、再発を防止する。不法投棄をさせないために啓発を行う。 自治会や市民団体の自主的な美化活動や、ごみゼロ大作戦・県下一斉清掃などの美化活動に取り組む。 市民や事業所によるボランティア清掃活動を支援し、まちの美観の維持・向上に取り組む。
	1-4	まちなかの緑化	まちなかの緑づくりプロジェクト	・緑の推進委員会 ・やす緑のひろば ・市 都市計画課	・市民一人当たりの都市公園面積 ※野洲市都市公園条例を参照	8.07㎡ (平成27年度)	10㎡	・開発行為に関する技術基準に基づく公園整備の推進	・開発行為に関する技術基準に基づく公園整備の推進	公園の配置基準に従い、開発行為に対して適正な指導を行う。 みどりの基本計画を策定し、都市公園等の位置づけを行う。 野洲川河辺の森林を保全し、市民による森づくりを協働で取り組む。ただし、新型コロナウイルス感染の状況を見ながら可能な限り実施をする。
					・典型7公害に係る公害苦情の件数	44件 (平成23~27年度の平均)	減少	・発生件数の減少	・発生件数の減少	苦情件数の多い野焼きや土地の適正管理について、広報やHPにより発生件数の減少にむけて周知啓発を行う。
					・市民一人当たりの都市公園面積 ※野洲市都市公園条例を参照	8.07㎡ (平成27年度)	10㎡	・開発行為に関する技術基準に基づく公園整備の推進	・開発行為に関する技術基準に基づく公園整備の推進	公園の配置基準に従い、開発行為に対して適正な指導を行う。 みどりの基本計画を策定し、都市公園等の位置づけを行う。
					・河辺林保全活動実施回数・参加者数(のべ)	33回・404人 (平成23~27年度の平均)	維持	・えこっち・やすとの協働による事業実施 一年30回・400人以上	・えこっち・やすとの協働による事業実施 一年30回・400人以上	野洲川河辺の森林を保全し、市民による森づくりを協働で取り組む。ただし、新型コロナウイルス感染の状況を見ながら可能な限り実施をする。
基本目標	点検番号	施策の方針	重点プロジェクト	主な取組主体・所管課	第2次野洲市環境基本計画(H29~H38)で定めた進捗評価のための指標			令和2年度目標	令和3年度目標	事業計画
					指標	現況(平成27年度)	10ヵ年(H38まで)の目標			
2 循環型社会・低炭素社会づくり	2-1	3Rの促進	ごみの資源化プロジェクト	・エコ・資源部会 ・市 環境課 ・市 クリーンセンター	・リユースステーション利用者数 (リユース物品無償譲渡会参加者数)	121人 (平成27年度)	維持	・大型リユース品譲渡の常設化 →リユース利用者数50人以上	リユース利用者数121人以上	常設のリユース利用を促進し、市民意識高揚を図るための更なる啓発と推進を図る。
	2-2	廃棄物の適正処理	ごみ減量プロジェクト	・ごみを減らそうプロジェクト ・市 環境課	・市内で回収した廃食油のリサイクル率	100% (平成27年度)	100%	・廃食油回収量 →4,400L以上	・廃食油回収量 →4,401L以上	リサイクル業者に引き渡しBDFに再生するために、廃食油回収の周知を行い、市民活動として定着している廃食油の回収を継続する。
	2-3	地球温暖化への対策	地球温暖化対策推進プロジェクト	・えこっち・やす事務局 ・市 環境課 ・市 クリーンセンター ・市 協働推進課	・1人あたりの一般廃棄物の排出量 ※一般廃棄物処理計画における目標を参照	738g/人・日 (平成27年度)	703.5g/人・日 (平成36年度)	・717.4g/人・日	711.8g/人・日	食品ロス削減等の啓発を行い、ごみ排出の減量を推進する。 市民にごみの分別を啓発し、「雑がみ」をはじめ、資源混入率を減少させる。
					・クリーンセンターのサーマルリサイクル熱回収率 ※熱回収量/熱発生量	—	10%以上	・利用の促進 (熱回収量/熱発生量10%以上)	・利用の促進 (熱回収量/熱発生量10%以上)	野洲市健康スポーツセンターを広く市民に利用されるよう進める。
					・エコドライブ講習参加者数(のべ)	15人 (平成27年度)	増加	・エコドライブ講習会参加者の増加	・エコドライブの啓発	新型コロナウイルスなくならない限りは実車を使用する講習会はできない。代わりにHPやチラシ等でエコドライブの啓発により、CO2排出削減に取り組む。
					・コミュニティバス年間利用者数	52,718人/年 (平成27年度)	増加	・コミュニティバス年間利用者数 →56,000人以上	・コミュニティバス年間利用者数 →46,000人以上	新型コロナウイルス感染により、令和3年度目標数見直す。市内循環バス(おのりやす)の感染症対策を行いながら利便性向上に取り組む。

第2次野洲市環境基本計画進行管理一覽表 令和3年度

※結果について、A…達成(100)、B…ほぼ達成(99~80)、C…未達成(79~50)、D…大半が未着手(49~1)、E…未着手(0)とする。( )内の数値は達成度のパーセントイメージ

基本目標	点検番号	施策の方針	重点プロジェクト	主な取組主体・所管課	第2次野洲市環境基本計画(H29~H38)で定めた進捗評価のための指標			令和2年度目標	令和3年度目標	事業計画
					指標	現況(平成27年度)	10ヵ年(H38まで)の目標			
3 里山から琵琶湖へつながる自然環境づくり	3-1	生物多様性の維持・向上 河川・琵琶湖の保全	みんなが親しむきれいな川づくりプロジェクト	・NPO法人家棟川流域観光船 ・野洲市里川づくり委員会 ・野洲市ホテルを復活させる会 ・家棟川・童子川・中ノ池川に ピワスを戻すプロジェクト ・市 環境課	・河岸・湖岸清掃活動実施回数、参加者数(のべ)	10回・213人 (平成23~27年度の平均)	維持	・ピワマス生息環境の整備や河川清掃活動の実施 →5回・100人以上 ※指標に基づき、3-3と合算	・ピワマス生息環境の整備や河川清掃活動の実施 →5回・100人以上 ※指標に基づき、3-3と合算	新型コロナウイルスの状況をみながら琵琶湖固有種のピワマスが生息できる環境づくりを推進し、市民が親しむ川づくりを行う。清掃活動などを実施し、河川環境の保全に取り組む。
					・環境学習会・体験イベント等実施回数、参加者数(のべ)	53回・1,763人 (平成23~27年度の平均)	維持	・環境学習・イベントの実施 →45回・1000人以上 ※指標に基づき、3-3と合算	・環境学習・イベントの実施 →45回・1000人以上 ※指標に基づき、3-3と合算	ヨシ植栽の効果検証を行い、生きもの観察会やエコ遊覧等を通じて、河川環境を知る機会を提供する。
	3-2	生物多様性の維持・向上 里山の保全	里山を守り育てるプロジェクト	・山部会 ・市 農林水産課	・里山保全活動実施回数、参加者数(のべ)	29回・346人 (平成23~27年度の平均)	維持	・里山保全活動 →30回・340人以上	・里山保全活動 →30回・340人以上	良好な里山環境の整備及び生物多様性の保全を図る。
					・里山学習会・体験イベント等実施回数、参加者数(のべ)	16回・511人 (平成23~27年度の平均)	維持	・里山学習・イベントの実施 →15回・500人以上	・里山学習・イベントの実施 →15回・500人以上	里山の機能を理解するための情報提供やイベント等を行う。
	3-3	生物多様性の維持・向上 河川・琵琶湖の保全	びわ湖を守ろうプロジェクト	・びわ湖の水と地域の環境を守る会 ・野洲市びわ湖を守る会 ・市 環境課	・河岸・湖岸清掃活動実施回数、参加者数(のべ) ※再掲(3-1指標)	10回・213人 (平成23~27年度の平均)	維持	・湖岸清掃活動の実施 →5回・100人以上 ※指標に基づき、3-1と合算	・湖岸清掃活動の実施 →5回・100人以上 ※指標に基づき、3-1と合算	マイアミ浜やあやめ浜での清掃活動に取り組む。また、そうしたボランティア活動を支援する。
					・環境学習会・体験イベント等実施回数、参加者数(のべ) ※再掲(3-1指標)	53回・1,763人 (平成23~27年度の平均)	維持	・あやめ浜まつりやヨシ植えイベントの開催 →5回・1000人以上の参加 ※指標に基づき、3-1と合算	・あやめ浜まつりやヨシ植えイベントの開催 →5回・1000人以上の参加 ※指標に基づき、3-1と合算	ヨシ植栽の効果検証を行い、琵琶湖環境の保全意識を啓発するための活動を行う。
	3-4	農地の保全	環境にやさしい農地の活用プロジェクト	・野洲市魚のゆりかご水田協議会 ・市 農林水産課	・環境こだわり農産物の栽培面積	997 ha (平成27年度)	維持	・環境こだわり農産物 →栽培面積997ha以上	・環境こだわり農産物 →栽培面積997ha以上	環境こだわり農業を推進することによって、より安全で安心な農産物を消費者に供給するとともに、琵琶湖等の環境保全を図る。
					・有機農業栽培面積	25 ha (平成27年度)	維持	・有機農業栽培面積 →25ha以上	・有機農業栽培面積 →25ha以上	有機農業を推進することによって、地球温暖化防止や生物多様性保全を図る。
基本目標	点検番号	施策の方針	重点プロジェクト	主な取組主体・所管課	第2次野洲市環境基本計画(H29~H38)で定めた進捗評価のための指標			令2年度目標	令和3年度目標	事業計画
4 環境学習の推進による市民活動の促進	4-1	環境学習の推進	みんなで環境学習プロジェクト	・えこっち・やす事務局 ・市 環境課	・出前講座等(省エネ・リサイクル関連)実施回数、参加者数(のべ)	17回・642人 (平成23~27年度の平均)	継続	・出前講座等の実施 →17回・640人以上	・出前講座等の実施 →17回・640人以上	身近な環境から地球規模の環境まで、幅広い年齢層に広く知識を習得する機会を増やし、市民が自ら環境保全に取り組む意欲の増進を図る。
					・クリーンセンターの市民活動拠点における市民活動等実施回数	—	年1回以上	・エコプラザでの市民活動 →年1回以上	・エコプラザでの市民活動 →年1回以上	あらゆる世代の環境保全に対する意識の高揚を促すため、ホームページ、広報、チラシの他、SNSを活用し、人材発掘につなげる。
	4-2	・環境活動団体等への支援 ・普及・啓発の担い手の育成・継承	環境活動支援プロジェクト	・えこっち・やす事務局 ・市 環境課	・HP情報発信数	—	月1回	・月1回以上の市HP周知	・月1回以上の市HP周知	